ユニットフレームから子供図書室を見る。

BCS賞

2015年 第56回
BCS賞受賞作品紹介

北九州市立戸畑図書館

選評

この建物は、一九三三年、当時の戸畑市役所として建設された。国会議事堂や東京中央郵便局が竣工した時代の歴史的な建築のひとつである。計画は、RC造地下一階地上三階、延べ二、九〇〇平方メートル規模の帝冠様式の建物を建設当時のオリジナルな外観そのままに、別棟や増築部を除却した上で耐震性能を現行基準まで向上させ、図書館として再生利用したものである。

築後八〇年の間に繰り返し増改築された既存建物は、構造図や構造計算書はもとより、既存図面がまったく存在しないため、計画にあたっては緻密な現地調査が行われている。基本設計段階における二度の調査により、耐震診断の二次診断に必要な構造的情報を把握し、実施設計の段階で部分的に仕上げを撤去し、改めて躯体の劣化状況を確認した上で工事に着手している。工事初期段階ではすべてスケルトンにした状態で、慎重かつ詳細に躯体調査を行い、克明に記録を残している。それは当時の建築技術や材料の貴重な資料であり、今後数十年使い続けるであろうこの建物の、日常的な維持管理のための基礎的データとしても、非常に重要な財産になっている。こうした膨大な作業を行った設計者、施工者の忍耐力と真摯な取組みは、特筆すべきものである。

構造計画の特徴は、帝冠様式の外観を保存するため、耐震補強材を一切外部に設けないことを前提とし、免震レトロフィットではなく、中央通路に沿って新たに四本の剛性の高い鉄骨のL字柱とアーチ梁を繋いだユニットフレームを挿入し、既存RC躯体と新規鉄骨躯体に応力を等分に負担させる絶妙な補強方法で解決している点にある。こうした新旧合わせた構造体が、内部空間に独特な表情を生み出している。また、部分的に新設した吹き抜けやトップライトが、図書館らしいさわやかな空間をつ

東側外観。帝冠様式の建物の外観が建設当時のオリジナルのまま残る。

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。
この賞は、1960年にはじまり2015年で56回を数えます。

< 2015年 第56回 BCS賞受賞作品 >

あべのハルカス　大阪木材仲買会館　**北九州市立戸畑図書館**　サイエンスヒルズこまつ　JPタワー
静岡市清水文化会館 マリナート　資生堂銀座ビル　Junko Fukutake Hall　鈴木大拙館　ダイビル本館・中之島 四季の丘
はあと保育園　明治大学創立130周年記念和泉図書館　ROKI Global Innovation Center -ROGIC-　[特別賞] 上州富岡駅

建築主より

市民に愛され続けた庁舎を これからも永く愛される図書館に再生

北九州市
建築都市局建築課
耐震・施設保全担当課長
櫨本浩一
Koichi Hazemoto

北九州市立戸畑図書館の前身は、1933年に旧戸畑市役所として建設され、5市合併後の初代北九州市役所、戸畑区役所として北九州市民や戸畑区民に愛されてきたシンボル的な建物です。しかし、80年という年月は、建物の耐用年数をはるかに超え、老朽化も著しく、工事中多くの困難に直面しましたが、リファイニング建築の第一人者である青木先生と、多くの著名建築家の構造設計に携わられている金箱先生おふたりのデザイン力や機能性を備えた補強計画に、鴻池組・九鉄工業の高い施工技術力が加わり、明るくおしゃれな図書館に生まれ変わりました。旧図書館と比べ、来館者数2.5倍、貸出冊数1.8倍と予想を超える市民に利用されています。

戸畑図書館の改修事業に携わっていただいた設計・工事関係者を始め、多くの方々のご尽力に深く感謝申し上げます。

設計者より

80年の時を超え、鐵(てつ)の力で 新たな息吹を上げるレトロフィット図書館

株式会社
青木茂建築工房
代表
青木 茂
Shigeru Aoki

旧戸畑区役所は、シンボルである塔屋、重厚なスクラッチタイル等、帝冠様式のデザインがランドマークとして愛されてきました。この築80年を超える歴史的建造物の外観を損なうことなく耐震補強し、市民の方々に愛される図書館へと再生することが本計画の主題でした。旧庁舎が建設された1930年代は、ヨーロッパの建築様式がアールヌーヴォーからアールデコへと移行し、建築材料として鋳鉄や鉄が多く使われるようになった時代です。最新の建築様式と建築材料が融合し、歴史的な意匠を作り上げたのです。戸畑周辺は、かつての八幡製鉄所のお膝元であり、旧庁舎は企業城下町としての最盛期の建物でした。その時代の旧庁舎に補強材としてスチール製のアーチフレームを使用することにより、建物に新たな歴史の重層性を作ることができるのではないかと考えました。

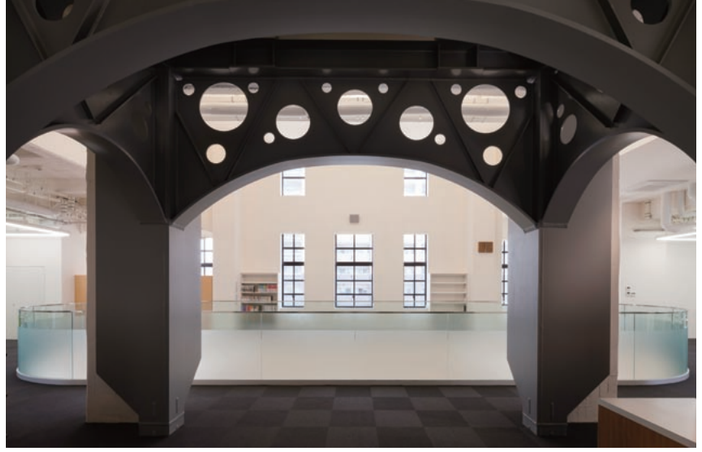
施工者より

歴史的建築物の再生へ知恵の結集

株式会社鴻池組
九州支店
工事事務所長
宮崎信宏
Nobuhiro Miyazaki

築後80年が経過した長い歴史がある旧戸畑区役所の外観を保持しながら、図書館として再生させる今回の工事は、建物内部からの耐震補強工事の施工方法について、関係した各技術者の知恵を結集することで、所期の品質が確保できました。また、既存躯体の老朽化・劣化問題等への対処についても、関係各方面の責任者による現地確認、検討、指示が的確に行われたことにより、施工者として対応が可能となりました。今回の歴史的建築物の外観を残しながらのリファイニング(再生)という貴重な工事経験を、増加しつつある今後のリノベーション工事に活かしていきたいと思います。

素晴らしい図書館へと生まれ変わったこの建物が、これからも多くの市民の方々に長く愛されることを願っています。



2階サービスカウンター前より「中央通路」に設けられたユニットフレームを見る。その先のラウンジに吹き抜けがあり、上部にはトップライトがある。

伝統行事である戸畑祇園大山笠会場と一体となった外部空間となり、以前にも増して親しまれ愛される施設となっている。歴史的建築物を単に延命するための補修や保存を行うのではなく、再生利用するコンバージョンの見本のような見事な作品であり、それが可能となったのも、長年リファイニング建築を提唱し、その実行に真摯に取り組んできた設計者を選定した建築主の見識の高さにある。築八〇年の建築を蘇らせたいという建築主の強い想いが、設計者・施工者の高いデザイン力・技術力を引き出し、歴史的建築物を魅力ある施設として再生している。

[選考委員]
佐々木睦朗・宮崎 浩・小林照雄

1階の「中央通路」に沿って配置されたユニットフレーム。

2階一般図書室C。トップライトがある。

計画概要

建築主：北九州市

設計者：㈱青木茂建築工房
㈲金箱構造設計事務所

施工者：㈱鴻池組
九鉄工業㈱

所在地：福岡県北九州市戸畑区新池1-1-1
竣工日：2014年2月20日

敷地面積：4,773.43㎡
建築面積：1,076.76㎡
延床面積：2,889.66㎡

階　数：地上3階、地下1階、塔屋3階
構　造：鉄筋コンクリート造